

コンプライアンス研修

対象 管理職・監督職・一般職
 ◎ オンライン研修が可能
 ◎ eラーニング置き換えが可能



研修の目標観

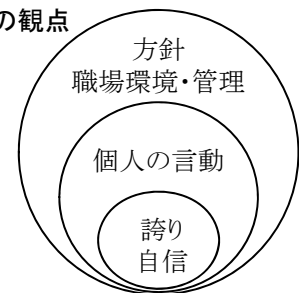
- 1 公務員倫理、コンプライアンスの重要性を理解する。
- 2 コンプライアンス違反の事例を通して、その要因や行動の留意点、違反予防の考え方を学ぶ。
- 3 コンプライアンスを実践する職員に求められることを確認し、当事者意識を高める。



研修のポイント

- ・公務員の不祥事を題材に、問題点、行動の留意点を検討します。違反が起こる要因（方針・管理・職場環境・個人の行動と内面感情）や対処方法を学習し、職場実践に活かします。
- ・不祥事リスクを取り上げてその未然防止策を検討することで、行動の意識を高めます。

コンプライアンス違反要因の観点



※下記プログラムは一例です。貴組織のご要望に合わせてプログラムをご提案させていただきます。

	研修の内容・タイムスケジュール	進め方・手法
午前	「コンプライアンスの重要性」 ・コンプライアンスとは ・福祉職員の違反の実態と損失 「コンプライアンスチェック」 ・行動の例で確認、注意すること 「コンプライアンス違反を生みやすい職場の特徴」 ・緩い管理、コミュニケーション、組織風土、個人の意識 ・SNS利用上の注意 「個人の仕事に対する誇りと自信」	講義 個人演習・発表 講義
午後	「コンプライアンスのケース」 ・問題点、行動の留意点を検討 ・解説 「コンプライアンス違反予防のポイント」 ・不祥事の洗い出しと共有 ・未然防止策の検討 ・コンプライアンスを実践する職員に求められること 「研修の振り返り」	個人演習 ペア/グループ 講義 講義 個人/グループ演習 講義 個人演習・発表